

平成23年から平成27年の救急搬送状況について

1 年別の救急搬送人員

東京消防庁管内※では過去5年間（各年6月から9月）に、20,593人が熱中症（熱中症疑いを含む）により救急搬送されました。平成27年の熱中症による救急搬送人員は過去5年間で2番目に多い4,702人で、平成26年と比較すると1,335人（約40%）の増加となりました（図1）。

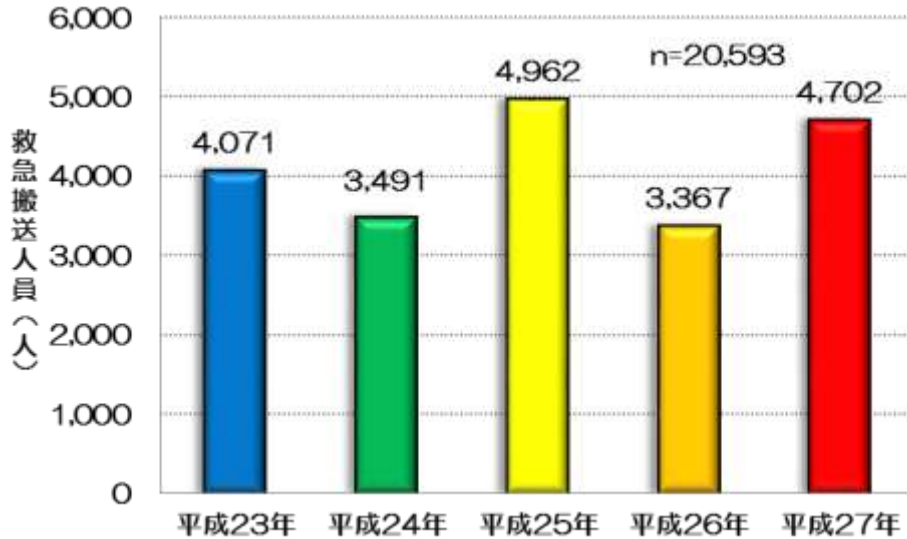


図1 過去5年間の熱中症による救急搬送人員（各年6月～9月）

2 月別の救急搬送人員

月別では、各年ともに7月、8月の発生が多いですが、梅雨時期の6月や残暑の9月にも熱中症による救急搬送がみられます。平成27年7月は、過去5年間で最も救急搬送が多くなっています（図2）。

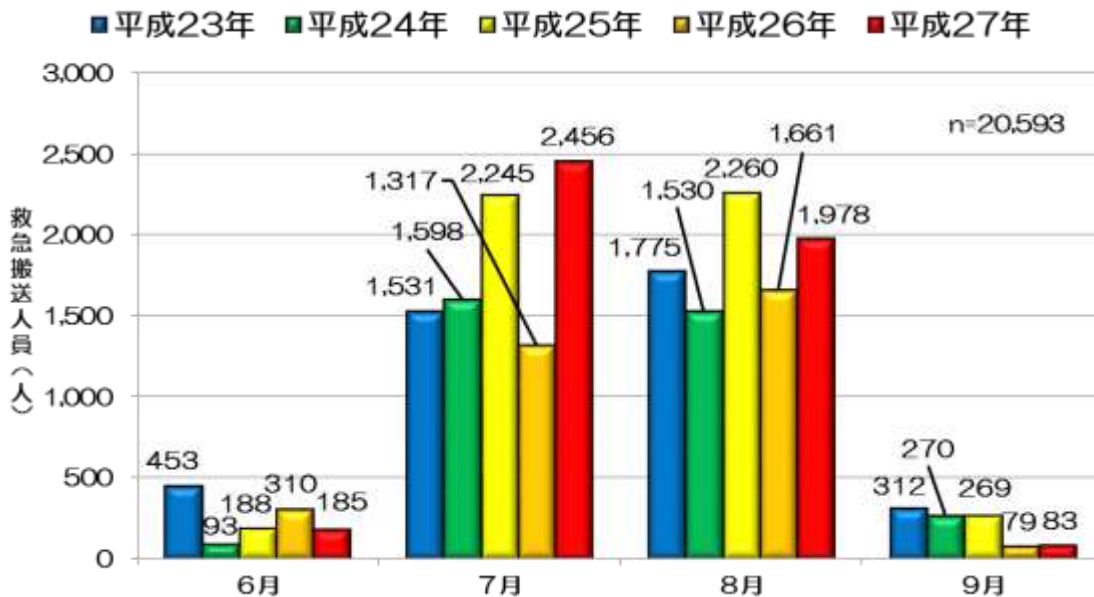


図2 月別の熱中症による救急搬送人員

※ 東京都のうち稲城市と島しょ地区を除きます。